

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2002-15756(P2002-15756A)
 【公開日】平成14年1月18日(2002.1.18)
 【出願番号】特願2000-193750(P2000-193750)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/12 (2006.01)

C 0 4 B 35/50 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/02 K

H 0 1 M 8/12

C 0 4 B 35/50

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月26日(2006.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

【実施例】

次に本発明の実施例を比較例とともに詳しく説明する。

<実施例1>

図1に示すように、直径が75mm、厚さが60μmの燃料極層13と、直径が75mm、厚さが100μmの固体電解質層16と、直径が75mm、厚さが40μmの空気極層14とを積層して75mmの燃料電池11を形成した。

空気極層14は $\text{Sm}_{0.5}\text{Sr}_{0.5}\text{CoO}_{3-d}$ という組成を有する酸化物イオン混合伝導体を使用し、燃料極層13はNiと $\text{Ce}_{0.8}\text{Sm}_{0.2}\text{O}_2$ という組成を有する化合物との混合体を使用した。

一方、固体電解質層16は第1電解質層16aと第2電解質層16bとを積層して形成し、第1電解質層は $\text{La}_{0.8}\text{Sr}_{0.2}\text{Ga}_{0.8}\text{Mg}_{0.15}\text{Co}_{0.05}\text{O}_{3-d}$ という組成を有する化合物を使用し、第2電解質層は $\text{La}_{0.75}\text{Sr}_{0.15}\text{Ga}_{0.775}\text{Mg}_{0.125}\text{Co}_{0.1}\text{O}_{3-d}$ という組成を有する酸化物イオン伝導体を使用した。